

ふりがな 氏名	たむら ちえこ 田村 知栄子	職名	講師
取得学位	博士(ヒューマン・ケア科学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	子育て支援、子ども家庭支援論、幼児理解の方法と理論、保育実習指導、子ども家庭福祉Ⅱ、卒業論文演習、卒業論文		
所属学会	日本幼少児教育健康学会(理事:平成31年4月～現在に至る、学会誌編集員および英文校閲:平成31年4月～現在に至る)、保育者養成教育学会		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
パワーポイントや映像を使用して理解の促進	平成22年～現在に至る	講義内容に関連した映像を学生に見せ、現代のこどもをめぐる社会問題を身近な問題として理解し、多面的に考えることの重要性を伝えている。また、映像の視聴だけで終わることのないように、各自意見をまとめ、議論する機会を設けている。
フィードバックシートやリアクションペーパーの活用	平成22年～現在に至る	授業の最後に要点をまとめたものを提出させている。そのことにより個人の授業理解度が把握できる。また、要点をまとめることにより授業を真摯に聴き、文章力の向上となる。さらにリアクションペーパーではコメントや質問も書いて提出させている。できるだけ次の時間にフィードバックするようにして、相互のやり取りができるように工夫している。
ディスカッションなどの体験型学習	平成22年～現在に至る	グループごとのディスカッションを必ずおこなう。人の意見を聴くこと、自分の意見を主張することなどを学ぶようにしている。また、グループでの発表を通し、プレゼンテーション能力の向上なども図っている。
「気になる」子の対応についての個別検討	平成28年～現在に至る	幼稚園や保育所に在園する「気になる」子の対応についてのケース研究幼稚園や保育所での対応についての質問紙調査およびインタビュー調査をおこなっている。「気になる」子への対応を乗り越えることによって保育者としての効力感が高まることが確認されている。
子育て支援施設への訪問見学(東洋大学)	平成29年～平成30年	学生が子育て広場を開催するにあたって、子育て支援施設へ訪問し、職員の対応や子どもへの対応を体験することをおこなっている。実際に体験することによって自分の保育者としての課題が明確になり、より保育への関心が高まることがわかった。
保育実習の手引き[第4版][第5版]の作成	令和3年3月～現在に至る	名古屋女子大学文学部児童教育学科発行の保育実習の手引きの作成に携わった。保育実習に臨むための事前指導から実習、事後指導に至るまで、学生が実習の意義を理解し、意欲的に参加できるように、また指導計画の立案や記録の書かき方など細かい部分まで網羅している。
就職活動のサポート	令和3年～現在に至る	授業を通して自分の強みを理解するワークをおこなっている。面接の際に、きかれることを授業のワークでとりいれている。また、エントリーシートは個別に添削している。さらには、面接練習をおこなうなど学生への就職へのサポートをおこなっている。
学生の学術的な場での発表	平成28年～現在に至る	ゼミ生を中心とし、卒論の内容を学術大会にて口頭発表を行うことにしている。その経験により、学生が研究への意義、意欲が深まりより研究への関心が高まっている。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	コンパクト版・保育者養成シリーズ「相談援助」	共	平成30年4月	一藝社	監修:谷田貝公昭、石橋哲成 編:高玉和子、大野地平 著者:赤瀬川修、古野愛子、 <u>田村知栄子</u> 他 全141ページ中、「第8章 相談援助の基本姿勢」(pp.65-72)を執筆
	保育士を育てる「子育て支援」	共	令和2年3月	一藝社	監修:谷田貝公昭 編:高玉和子、佐藤順子 著者:大村海太、古野愛子、 <u>田村知栄子</u> 他 全128ページ中「第4章子育て支援事業と支援環境」(pp.33-40)
	シリーズ知のゆりかご なぜ?から探る 子ども理解と援助	共	令和4年1月	みらい	編集:青木紀久代 著書:青木紀久代、大河内修、 <u>田村知栄子</u> 他 全175ページ中「第13章 特別な配慮を要する子どもの理解と援助」(pp.153-160)
論文	1. 保育者養成校の学生が捉えた「気になる子」を通しての乳幼児への発達理解	単	平成30年3月	越谷保育専門学校紀要第6号	pp.19-26
	2. 幼児期における障害理解教育の実践実態に関する調査研究	共	平成31年3月	ライフデザイン学研究15	<u>田村知栄子</u> 、嶋崎博嗣、南野奈津子、中原美恵、田尻由起、早坂聡彦、金子元彦
	3. 幼児期における障害理解教育の実践上の課題に関する調査研究	共	平成31年3月	ライフデザイン学研究15	南野奈津子、嶋崎博嗣、中原美恵、田尻由起、 <u>田村知栄子</u> 、早坂聡彦、金子元彦
学会発表	保育者養成校の学生が捉えた「気になる」子と保育者の対応①～保育者養成校における実習事前・事後指導の一考察～	共	平成30年2月	日本幼少児健康教育学会第36回春季朝霞大会	<u>田村知栄子</u> 、木村朱里 口頭発表
	保育者養成校の学生が捉えた「気になる」子と保育者の対応②～「気になる」子どもを通じた学生に気づき～	共	平成30年2月	日本幼少児健康教育学会第36回春季朝霞大会	木村朱里、 <u>田村知栄子</u> 口頭発表
	女子大学生の精神的自立と母親イメージの移行に関する一考察	共	平成30年2月	日本幼少児健康教育学会第36回春季朝霞大会	矢継望美、 <u>田村知栄子</u> 口頭発表

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	「保育園・幼稚園・認定こども園における障がい理解教育の実践の実態に関する研究」	共	平成30年3月	第3回日本保育者養成教育学会	田村知栄子、中原美恵、嶋崎博嗣、田尻由起、南野奈津子 ポスター発表
	保育園・幼稚園・認定こども園における障害理解教育の実践をめぐる課題に関する研究」	共	平成30年3月	第3回日本保育者養成教育学会	田尻由起、南野奈津子、 <u>田村知栄子</u> 、中原美恵、嶋崎博嗣 ポスター発表
	「保育者養成校の学生の困難状況としての「気になる」子どもの特徴」	共	平成30年3月	日本幼少児健康教育学会第37回青山大会	<u>田村知栄子</u> 、渡邊結愛 口頭発表
	「保育者養成校の学生が捉えた「気になる」子どもの特徴」	共	平成30年3月	日本幼少児健康教育学会第37回青山大会	渡邊結愛、 <u>田村知栄子</u> 口頭発表
	「幼稚園・保育園・認定こども園における障害理解教育の実施状況に関する調査研究 未実施機関の自由記述分析を通した一考察」	共	平成30年3月	日本発達心理学会第30回大会	田尻由起、内田千春、 <u>田村知栄子</u> ポスター発表
	保育者養成校における GRIT に着目したストレスマネジメントプログラムの提案～保育者養成校の学生の養育環境の分析から～	単	令和2年3月	日本幼少児健康教育学会第38回大和大会	<u>田村知栄子</u> 紙面発表
	保育者養成校の大学生における GRIT とバーンアウトとの関連	共	令和2年3月	日本幼少児健康教育学会第38回大和大会	森口紗也加、 <u>田村知栄子</u> 紙面発表
	保育者養成校の学生の GRIT の高さと保育のやりがいおよび困難さとの関連～保育者養成校の学生の实习报告の分析から～	単	令和2年9月	日本幼少児健康教育学会第39回岡山大会	<u>田村知栄子</u> web 発表
	保育者養成校の大学生における GRIT、保育者効力感、バーンアウトの経年変化	共	令和2年9月	日本幼少児健康教育学会第39回岡山大会	半谷真唯、飯田ノア、落合由多、栗屋結奈、鈴木愛梨、鈴木日菜、柘植泉希、永井友唯、古川莉奈、森本紗生、 <u>田村知栄子</u> web 発表
	保育者養成校の学生の GRIT 高群と低群の縦断的研究	共	令和3年2月	日本幼少児健康教育学会第40回加須大会	栗谷結奈、鈴木愛梨、古川莉奈、 <u>田村知栄子</u> web 発表
	保育者の早期離職予防のためのストレス軽減の予備的介入～GRIT と感謝介入の関連性～	単	令和3年2月	日本幼少児健康教育学会第40回加須大会	<u>田村知栄子</u> web 発表

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	幼児期における身体表現活動の指導内容による考察 -リズムダンス運動に着目して-  保育者養成校の学生の GRIT が保育者効力感、バーンアウトに与える影響	共	令和4年3月	日本幼少児健康教育学会第40回記念大会【春季:赤羽台大会】	倉田梓、 <u>田村知栄子</u> web 発表
		単	令和4年3月	日本幼少児健康教育学会第40回記念大会【春季:赤羽台大会】	<u>田村知栄子</u> web 発表
その他(報告書)	その他(研究報告書、調査報告書等) 東洋大学中・長期計画「子育て支援事業」報告書	共	平成30年3月	東洋大学ライフデザイン学部生活支援専攻子ども支援学専攻	<u>田村知栄子</u> 、高山静子、内田千春、嶋崎博嗣 全36ページ中 2. 保育者養成校における実践型ラーニングコミュニティの実施(オープン保育実習室)についての報告及びその効果(pp.6-8) 3. 子育て支援実践(子育てひろば・サプリ)の概要(pp.9-10) 4. 子育て支援実践(前半グループ)の報告(pp.11-13) 5. 子育て支援実践(後半グループ)の報告(pp.14-22) 6. 学生レポートからみる本事業の評価(pp.23-26) 他、編集を担当。

◆ 社会貢献活動

事項	実施年月(日)	概要
県立熱田高校での授業実践	令和元年6月	高校3年生に向けて「レジリエンス」についての講義をおこなった。大学での講義をわかりやすく、高校生にむけて展開した。
日本幼少児健康教育学会第40回記念大会【春季:赤羽台大会】大会実行委員	令和4年3月	大会の円滑な運営に尽力した。主に、抄録編集に携わった。